

2025年度に実施したOff-campus Study Program

実施期間：それぞれ基本的に前後に事前授業、事後授業を実施することで実習の準備や実習で学んだ知識、スキルの振り返りを行い、プログラムを通した学びを深めています。

	プログラム名	実施形態	派遣国・地域/連携先	派遣期間	派遣目的	事業内容・学修成果の概要	成績評価			
1	FIRST(海外)	海外派遣	韓国（現地の活動地域はグループ毎に設定）	2025年5月29日～6月2日	1回生がクォーター間の休暇を利用して国外に赴き、そこで初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れることが出来る短期集中プログラム。	グループ毎に設定したアンケート調査・インタビューなどリサーチ活動を行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方を修得した。また、事後アンケートから異文化への関心、知識の高まりも示された。	2単位（P/F）			
2	SECOND	海外派遣	マレーシア・タイ（現地の活動地域はグループ毎に設定）	2026年2月25日～3月6日	長期休暇期間を利用して東南アジアの複数の国に赴き、現地の人々にアンケート調査を実施することで調査手法の理解と東南アジア地域の文化理解を図る。国内学生・国際学生の混成グループで日英2言語で実施する。	必ずしも英語が適用しない地域での調査活動に苦戦しつつも、日々のグループ内ディスカッションを通して非言語面も含めた振り返りを行い現地でのコミュニケーションの成長が見られた。また、事後アンケートでは学生の異文化への関心や挑戦意欲などで成長が見られた。	2単位 (A+,A,B,C/F)			
3	AP言語イマージョン(中国語)	海外派遣	東北財経大学（中国）	2025年8月10日～8月22日	海外の大学や大学附属の語学学校などで、夏期・冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	言語運用能力について4技能が伸びたと感じる学生が多かった。	2単位、4単位 (A+,A,B,C/F)			
4	AP言語イマージョン(韓国語)	海外派遣	釜山外国語大学（韓国） 高麗大学（韓国）	2025年8月4日～8月22日 2026年2月22日～3月21日		集中的な言語研修を通して言語能力を向上させるとともに、歴史的・文化的背景等、言語の使用に必要な知識を得た。また、協定先大学の教員や学生との交流を通して異文化への理解を深めた。				
5	AP言語イマージョン(スペイン語)	海外派遣	グラナダ大学（スペイン）	2026年2月26日～3月21日						
6	日本語イマージョン	国内派遣	日本、大分県（別府市・鉄輪地区）	2026年2月16日～2月27日	冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	自分たちが住む別府の地域のニュースを読み、住民と交流しながら、地域理解を深め、あわせて言語向上と異文化理解を深めた。	2単位 (A+,A,B,C/F)			
7	フィールド・スタディ （ST学部/「東峰村の中学生と地域づくり」 / "Community Development with Secondary School Pupils in Toho Village"）	国内派遣	日本、福岡県	2025年9月2日～9月5日	教員の指導のもとで、各学部の専門分野に関するテーマに基づき、現場で調査・研究活動を行い、自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践の架け橋となるプログラム。	アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とし、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することの学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じる能力を向上させた。	2単位 (A+,A,B,C/F)			
8	フィールド・スタディ （ST学部/グロー・バル都市ロンドン、世界遺産都市バースから学ぶ持続可能な都市開発戦略 Sustainable Urban Development Strategies, learning from Global City London and World Heritage City Bath）	海外派遣	イギリス	2025年8月27日～9月4日						
9	フィールド・スタディ （ST学部/持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査）	国内派遣	日本、長野県	2025年8月7日～8月10日						
10	フィールド・スタディ （ST学部/アイヌの里 北海道平取町（二風谷）で、アイヌ文化を活かした観光振興を考える）	国内派遣	日本、北海道	2025年9月1日～9月5日						
11	フィールド・スタディ （ST学部/沖縄本島北部のやんばる地域の人の暮らしと地域づくり）	国内派遣	日本、沖縄県	2025年8月25日～8月30日						
12	フィールド・スタディ （ST学部/韓国学の実践的現地研究）	海外派遣	韓国	2025年8月31日～9月6日						
13	フィールド・スタディ （ST学部/地方都市におけるSDGsの応用～ローカルSDGsのまちみやま市から学ぶ Applying SDGs in local cities – Learning from the case of Miyama City as Local SDGs Town）	国内派遣	日本、福岡県	2025年8月24日～8月30日						
14	フィールド・スタディ （APS学部/障害と社会 Disability and Society）	国内派遣	日本、大分県	2025年9月9日～9月12日						
15	フィールド・スタディ （APM学部/アルビレックス新潟シンガポールでスポーツマネジメントを学ぶ）	海外派遣	シンガポール	2025年8月27日～9月1日						
16	フィールド・スタディ （ST学部/北九州市の環境問題の取り組みと産業遺産を活用した地域づくりを学ぶ）	国内派遣	日本、福岡県	2026年2月17日～2月20日						
17	フィールド・スタディ （ST学部/まち歩き（観光）の先進的取り組み、「長崎さくら」に学ぶ）	国内派遣	日本、長崎県	2026年2月15日～2月18日						
18	フィールド・スタディ （ST学部/Sustainable Development with Local and International Development Actors in Thailand）	海外派遣	タイ	2026年2月20日～2月26日						
19	フィールド・スタディ （APS学部/釜山とその周辺地域の宗教（神話）、近現代遺産と文化（社会、政治、歴史、言語、教育、経済など）の変容）	海外派遣	韓国(釜山、慶州とその周辺地域)	2026年3月2日～3月7日						
20	フィールド・スタディ （APS学部/Singapore: Exploring the secrets and current challenges of the prosperous city-state in Southeast Asia ）	海外派遣	シンガポール	2026年2月19日～2月25日						
21	フィールド・スタディ （APS学部/森林セクターのイノベーションと地域活性化）	国内派遣	日本、大分県	2026年3月10日～3月12日						
22	フィールド・スタディ（APM学部/企業調査研究ケーススタディ・プログラム：ベンチャー・スタートアップ企業・グローバルニッチ企業のマネジメント）	国内派遣	日本、東京都とその周辺	2026年2月16日～2月19日						
23	フィールド・スタディ （APM学部/醤油業界におけるステークホルダーとの共生）	国内派遣	日本、兵庫県、福岡県	2026年2月17日～2月18日						
24	地域研究アドバンスト（APS学部2023カリキュラム）	海外派遣	タイ、インドネシア	2025年6月8日～7月19日	自ら立案した研究計画をもとにアジア太平洋地域社会を回遊し、現地に密着した調査を通して環境、災害、貧困、人権などの社会問題を観察・分析し、研究成果をもとに社会貢献を考えるプログラム。	社会科学の理論や概念を現地で検証するフィールドワークを通して、専門知識の実践的な活用力を養った。また、2か国での実践経験を通じて、多様な文化や社会課題を比較・分析する力を身につけ、課題発見能力や問題解決能力の向上を図った。	8単位 (P/F)			
25	プロジェクト研究（APS学部/現代社会論～（共生）について考える）	国内派遣	日本、新潟県	2025年9月8日～9月14日	3回生・4回生のゼミ履修学生を対象に実施するゼミ連携型プログラムであり、セッション及び長期休暇期間中に、学外での実習を中心としたゼミ学習を継続して行う。	担当教員のゼミを履修する学生を対象に実施し、ゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げた。	4単位 (A+,A,B,C/F)			
26	沖縄インターンシップ	国内派遣	日本、沖縄県	2025年9月1日～11月28日	本プログラムは、沖縄北部に開業する「JUNGGLIA OKINAWA（ジャングリア沖縄）」で「学び、実践、提案、評価」までを一貫して行う長期インターンシップ・プログラムである。	「JUNGGLIA OKINAWA（ジャングリア沖縄）」における約3か月間の現場実習を経て、問題点や改善点を洗い出し、課題解決の提案まで行ったことで、課題発見能力、論理的思考能力、プレゼンテーション能力の向上が図れた。	8単位 (P/F)			
27	日本語パートナーズ	海外派遣	インドネシア	2025年8月～2026年3月	ASEAN諸国の主として中等教育機関に赴き、現地日本語教師と学習者の日本語学習の「パートナー」として、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、日本語教育を支援する。また、現地の言語や文化についての学びを深めASEAN諸国の架け橋となることを目指す。	現地教育機関での教育サポートのみならず、授業内外で生徒と交流し、地域・コミュニティに積極的に参加することで異文化理解力を養った。また、臨機応変に行動する力、プレゼンテーション力など様々な能力を身につけた。	16単位 (P/F)			
28	ダブルディグリープログラム	海外派遣	St. Edward's University（米国）	渡航期間 約2年間	海外協定大学とAPUで2年間ずつ学び両大学の学位を取得する共同学位プログラム	2年間という長期の海外滞在を通して、世界に通ずる多角的視野・教養・思考力を身に付ける。	手続きを経て留学先での取得単位を APUの単位として認定			
29			Salzburg University of Applied Sciences（オーストリア）							
30			Neoma Business School（フランス）							
31	国内交換留学	国内派遣	立命館大学（日本、京都・滋賀・大阪）	1セメスター間もしくは1年間	APUと学生交換協定を締結している大学に派遣先大学へ学費を納入することなく半年または1年間留学し、主に各自の専門分野に応じた正規科目を履修する。	国内外の協定大学の正課科目を受講することでAPUにはない専門知識を深めることができた。	手続きを経て留学先での取得単位を APUの単位として認定			
32			国際教養大学（日本、秋田）							
33	海外交換留学	海外派遣	海外協定大学のいずれか	約1～4週間(派遣先大学により異なる)						
34	短期サマー/ウィンタープログラム	海外派遣								